

事業 41	方針等 区分	(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10) ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成25年度				
	事業名	高校生のインターンシップ事業		予算額	994千円			
				決算額	546千円			
	事業概要	<p>学生が在学中に職業体験を行うインターンシップ制度の普及・啓発に取り組みます。</p>		<p>取組状況</p> <p>H25.9.1 現在</p>	<p>■対象 市内高校の2年生</p> <p>■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 3校 ②実施生徒数 31人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 8事業所</p> <p>■今後の予定 10～11月、1～2月にかけて3校実施予定。 ただし、実施人数未定。</p> <p>■予算執行予定額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 546,000円</p>			
					補足事項	<p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓を行うとともに、実施期間や職種を希望校(生徒)が選択できるよう充実した内容にしていきます。</p>		<p>進捗率</p> <p>H25.9.1 現在</p>
	H26.3.31 現在	<p>(実施生徒数) H24 / 86人 H25 / 98人 計 / 184人 (実施生徒数) 204.4 (%)</p>						
		成果目標	参加者 90人/3年		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 98人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所 87事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 60事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高校全校</p>		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援					
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援					
		中施策	①企業と人材のマッチング					
産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>平成25度の参加生徒数は98名で、目標を達成できた。 また、前年度同様、インターンシップ生と受け入れた企業の双方にアンケートを実施し、自己評価と他者評価を見比べる手法を取り入れ、それらをインターンシップ生にフィードバックすることで、高校生の就業意識向上に役立った。</p> <p>未実施の市内高校に対して来年度の実施予定調査を行うとともに、ジュニアインターンシップ説明会を実施するなど、積極的な利用促進を図った。次年度は、今年度の手法を活かし、より多くの高校生の参加を促したい。</p>				
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり						
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養						
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度		
	事業名	体験型観光プログラムの開発と誘客の推進		予算額	4,850千円	
				決算見込額	4,850千円	
	事業概要	地域産業を生かし、茶摘み、森林産業、漁業、伝統工芸品づくりなど体験観光プログラムを開発するとともに、旅行代理店を通じて海外や首都圏等にセールスし、教育旅行や観光客の増加を図ります。		取組状況	H25.9.1 現在	
					<p>■静岡型体験観光推進事業補助金による支援 静岡市内における体験教育旅行を受け入れている任意団体「しずおか体験教育旅行」の活動に対して助成を行う。 (平成25年度予算額 4,550千円) 「しずおか体験教育旅行」は、実際に担当の先生方に、本市ならではの体験プログラムを体験していただくモニターツアーや体験型観光ツアーの実施、県内外における誘致活動を行ったほか、教育旅行の受付窓口として、各種体験プログラムの取りまとめなど、学校や旅行エージェントとの調整等を行っている。</p> <p>■誘致活動の実施 市、しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会の共同で、国内外へ教育旅行の誘致活動を実施している。 (平成25年度予算額 300千円) しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会等と共同で、首都圏の小中学校への訪問・誘致活動や台湾での現地商談会へ参加し、本市の体験プログラムのPRを実施する。</p>	
	補足事項			進捗率	H25.9.1 現在	
					(訪日教育旅行誘致件数) 1件 台湾 1件	
	成果目標	首都圏や海外からの教育旅行の誘致推進 ・訪日教育旅行誘致件数 8件/年 体験プログラム実施数 ・3,830件/H22~H26計		事業評価	H26.3.31 現在	
					<p>①訪日教育旅行誘致件数 4件 (訪日教育旅行誘致件数) 50.0 (中国1件、台湾3件) ②体験プログラム実施数 (体験プログラム実施数) 94.4 3,615件/H22~H25 (H22~25計)</p>	
	4.2	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化	事業結果	<p>【市】</p> <p>①しずおか体験教育旅行に対して補助金を支出した。 ②しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会と共同で誘致宣伝活動を実施した。</p> <p>【しずおか体験教育旅行】</p> <p>国内外からの教育旅行誘致のため、下記の宣伝・誘致活動や体験プログラムの充実に向けた取り組み等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来静を予定・検討している教育関係者による実地調査への同行 4月26~27日(八王子市内小学校、教育委員会から34名参加)</li> <li>・首都圏等の学校の先生や教育関係者、旅行会社を対象としたモニターツアー 7月29~30日(海洋活動体験、久能山東照宮、登島遺跡等) 11月30日~12月1日(井川ダム、廃線ウォーク、民宿宿泊)</li> <li>・首都圏等への学校訪問・誘致活動 11月19~21日 長野、岐阜県内の小中学校訪問 11月27~29日 愛知県内の小中学校訪問 12月3~5日 八王子市・横浜市内の小中学校等訪問</li> <li>・台湾現地商談会への参加及び現地旅行会社訪問 9月23~25日 台北・台南・高雄の3都市で実施</li> <li>・台湾教育旅行関係者招聘事業における商談会 11月8日 台湾教育旅行関係者約60名 2月21日 台湾教育旅行関係者約60名</li> </ul>
基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
産業振興プランの位置付け	基本方針		(1) 地域資源の観光活用			
基本施策	①体験型観光の振興					
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興担当		その他(特記事項)	「体験型観光プログラムの開発」については事業4.3での取り組みと密接な関わりがある。		

事業 43	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	産業観光等のニューツーリズムの推進		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	お茶や伝統工芸などの豊富な産業資源を活用し、産業・体験型観光を活性化し、他地域との差別化を行い観光交流客の増加を図ります。		取組状況 H25.9.1 現在	■産業観光の推進 「感動」「体験」などの観光トレンドを追い風にして、地域の強みである産業資源を活用した観光メニューの開発と観光客受入の準備を推進する。		
		補足事項			H25.9.1 現在		(%)
			H26.3.31 現在		(%)		
	成果目標	関係団体等との連携強化による体験プログラムの開発及び充実		事業評価	<p>【静岡県中部地区観光協議会】</p> <p>静岡県中部地区観光協議会において、推進体制を産業と食ツーリズム、スポーツツーリズム、教育交流を検討する3ワーキンググループ体制とし、産業観光をはじめ、グルメやお茶、スポーツやサイクリングなど様々なテーマ別観光メニューの開発を検討した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化				
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地				
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信				
産業振興プランの位置付け	基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>徳川家康公顕彰400年記念事業のまち歩き事業において、お茶や伝統工芸の産業をめぐるツアーや観光コースの造成などに取り組む。また、静岡県中部地区観光協議会において、3つのテーマ別観光メニューの開発の際に、中部地域の徳力ある産業を見学するコースや商品の造成に取り組む。</p>				
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用					
	基本施策	①体験型観光の振興					
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興担当		その他(特記事項)				

事業 44	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	経済セミナー等の開催		予算額	指定管理料 50,176千円の一部		
				決算見込額	指定管理料 50,176千円の一部		
	事業概要	<p>クリエイター支援センター等の本市の産業支援施設において、国内外の一流の産業人等によるセミナー、ワークショップ等を開催します。</p>		<p>取組状況</p> <p>H25.9.1 現在</p>	<p>(静岡市クリエイター支援センター)</p> <p>【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAGDA新人賞展ギャラリートーク</li> <li>・子どもアニメワークショップ(夏季)</li> </ul> <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のCMフェスティバル</li> <li>・しりあがり寿の「まだまだやるら。」</li> <li>①しりあがり寿 歴史資料館(もう少し置かせて)</li> <li>②「しりあがり寿 図書館」</li> </ul> <p>(今後の予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NCC Shizuoka(継続開催中)</li> <li>・NCC展覧会</li> <li>・DOTMOV</li> <li>・子どもアニメワークショップ(冬季)</li> </ul>		
					補足事項	進捗率等	H25.9.1 現在
			H26.3.31 現在	(セミナー等開催数) H24 / 5回 H25 / 4回 計 / 9回	(セミナー等開催数) 100.0	(%)	
	成果目標	セミナー等開催数 9回/3年		事業評価	<p>(静岡市クリエイター支援センター)</p> <p>【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAGDA新人賞展ギャラリートーク</li> <li>・子どもアニメワークショップ(夏季)</li> <li>・家庭遺産トークイベント</li> </ul> <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のCMフェスティバル</li> <li>・しりあがり寿の「まだまだやるら。」</li> <li>①しりあがり寿 歴史資料館(もう少し置かせて)</li> <li>②「しりあがり寿 図書館」</li> <li>・NCC Shizuoka</li> <li>・NCC展覧会</li> <li>・DOTMOV FESTIVAL2013</li> <li>・子どもアニメワークショップ(冬季)</li> </ul>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向						
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	<p>経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主幹 谷川 良英 (内線) 82-2313</p>		その他(特記事項)	ICNギャラリーでCMフェスティバルを開催			
<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>							

事業 45	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (特産品東京展示会)		予算額	4,549千円		
				決算額	4,543千円		
	事業概要	首都圏において、本市の特産品展示販売及び実演等を実施し、本市の地場産業のPRを行います。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■10月16日～18日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を予定している。今年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、『ホビーのまち静岡』のPRを推進するため、プラモデルの展示も企画している。その他、静岡市ブランド認証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も予定している。</p>		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 計 / 2回	(実施回数) 33.3	(%)			
	成果目標	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブランドの創出・認知度の強化		事業結果	<p>■10月16日～18日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を行った。今年は静岡市が鏡台家具の主要産地であったことを広くPRしていくために「復刻鏡台展」を開催しお客様から好評を得た。その他、静岡市ブランド認証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も実施した。</p> <p>期間中の来場者数 約12,000人 期間中の売上額 約4,588千円</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	〔事業担当記載事項〕	改善点・目標の未達成理由等	展示会初日が50年に一度の大型台風と重なり、例年と比較し、来場者の減少が見られたが、その後持ち直し、前年比10%の売り上げ減少に留まった。 会場について、当会場での開催が長く続いているため、別の会場を模索しているが、会場面積や出展経費の関係で、別会場の開催が困難である。また、長年実施してきたことで、地元地区の顧客を多数獲得できていることもあり、会場変更には十分協議が必要となる。		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	③販路開拓支援					
所属部会	<p>■販路開拓部会  部会長 山梨委員  部会員 杉山委員、秋元委員  ■事務担当 地場産業担当 浅沼副主幹</p>						
事業担当課等	<p>経済局商工部  産業振興課 地場産業担当  主査 武田英世  (内線) 81-6641</p>						

事業	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (ホビーのまち)		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	「ホビーのまち静岡」を首都圏等 に向け発信することにより、静岡市 のブランド力を高め、更なる購買層 の拡大と業界振興につなげます。		取 組 状 況  H25.9.1 現在	前年同様、「静岡市の特産品東京展示会」とプラモデル展を同 時開催する予定であるものの、新宿駅西口の展示スペースが小さ いため、思うような展示ができるか不安が残る。その点も含めて、 現在静岡模型教材協同組合と協議を実施している。		
	H26.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 計 / 2回	(実施回数)	66.6 (%)			
	46	成果目標	PR事業の強化 3回/3年		事 業 結 果	静岡模型教材協同組合との協議の結果、展示スペースの規格と 物販に関する規定等により、新宿駅西口でのプラモデル展開催は 見送った。代わりに、同所において12月に行われるクリスマスフ ェスタや、静岡ホビースクエアのチラシ・パンフレットを配布し、 首都圏におけるイベント周知を実施した。	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針					
		大 施 策					
	産業振興 のプラン 位置付け	基本 方 向	2 生活の質を高める産業の振興		事 業 評 価 等	〔事務担当 記載項目〕 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	
基本 方 針		(1) マーケットを重視した事業展 開の促進					
基本 施 策		③販路開拓支援					
所属部会	■販路開拓部会 部長 山梨委員 部会員 杉山委員、秋元委員 ■事務担当 地場産業担当 浅沼副主幹		〔事業担当 記載事項〕  改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	新宿駅西口イベントスペースでは、スペースの規格や、物販の 条件等が加となり、思うような展示・販売ができない。そのため 今後は、首都圏におけるPRが有効に実施できる場所を探し出し、 効果的な首都圏PRができるよう検討を進めていく。			
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 工業支援担当 副主幹 石塚浩史 (内線) 81-6641						

事業	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	静岡市ブランド認証制度の拡充		予算額	2,333千円		
				決算見込額	2,208千円		
	事業概要	本市ならではの魅力ある商品や製品を静岡市ブランドとして認証し、広くPRすることで、本市の認知度を高めシティプロモーションの推進を図ります。また、これを機に新たな商品や製品の開発を促進するなどの拡充に取り組みます。		取組状況 H25.9.1 現在	■新規認証関係 ①認証申請期間 8月1日～8月31日 ②書類審査 9月25日(ブランド認証専門委員会開催) ③プレゼン審査 10月29日～10月30日 (ブランド認証専門委員会開催) ④申請件数 21件  ■展示販売関係 ・「しずおかクラフトマーケット」 東京都台東区 7月11日～16日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 8月29日～9月4日		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(認証品数) H24 / 10品 H25 / 14品 計 / 24品 (展示即売会数) H24 / 5回 H25 / 6回 計 / 11回	(認証品数) 120 (展示即売会数) 73.3 (%)				
	成果目標	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充		事業結果	■新規認証関係 ①認証申請期間 8月1日～8月31日 ②書類審査 9月25日(ブランド認証専門委員会開催) ③プレゼン審査 10月29日～10月30日 (ブランド認証専門委員会開催) ④申請件数 21件 ⑤新規認証件数 14件  ■展示販売関係 ・「しずおかクラフトマーケット」東京都台東区 7月11日～16日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 8月29日～9月4日 ・静岡あさひテレビ祭り 9月28日～9月29日 ・静岡市の特産品 東京展示会 10月16日～10月18日 ・産業フェア 11月30日～12月1日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」 1月23日～2月4日		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価等	(事務担当記載項目) 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	②地域資源を活用したブランドの構築・強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興		(事業担当記載事項) 改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針	(2) 全国・海外への積極的なプロモーション展開					
	基本施策	①市民が誇れる静岡ブランドの確立					
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会長 本多副会長 部会員 実石委員、杉山委員 アシスタント 二渡会長、中村委員 ■事務担当 地場産業担当 頭師副主幹						
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 総務係 副主幹 浅沼 都 (内線) 81-6641						

事業	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度		
	事業名	市民向けものづくり体験・学習イベントの開催		予算額	5,970千円	
				決算見込額	5,432千円	
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、広く市民に向けて市内のものづくり産業に関する学習機会として、体験型等のイベントを開催します。		取組状況 H25.9.1 現在	市内の小学校4年生が社会科事業の一環として「駿府匠宿」で創作体験する場合申請によりその利用に要する費用の一部を市が支援している。補助金額は児童一人最大1,700円、現在50校の申請があり、10月以降実施。	
					補足事項	進捗率
	H26.3.31 現在	(イベント参加者数) H24 / 83人 H25 / 491人 計 / 574人	(イベント参加者数) 191.3 (%)			
	48	成果目標	参加者 300人/3年		<b>事業結果</b> ■平成25年度地場産品体験学習事業実績 参加学校数：50校、参加児童数：3,285人 例年通り、小学校の授業を通して、市民に、ものづくりに対する関心と理解を深めることができたと考えられる。 ■さらなる市民向けのものづくり体験の機会としては、 ・産業フェアしずおか2013で駿府匠宿がサンドブラスト等の体験コーナーを実施した。(参加者数) 175人 ・市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けのものづくり体験型のイベントが開催された。(参加者数) 321人	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向			事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項	
	基本方針					
	基本施策					
所属部会	■PR促進部会 部会長 杉山委員 部会員 山梨委員、鶴田委員 ■事務担当 産業経営担当 山田主任主事		〔事業担当記載事項〕	小学生の4年生を対象とした体験学習事業については、市内100校(私立、公立、特別支援)の内50%の学校が参加しているため、引き続き、勧誘を勧めていく。 国の外郭団体である伝統的工芸品産業振興協会も市の補助金より有利な条件を提示しているため、そちらを選択する学校も多い。(静岡竹工芸協同組合が年間7~8校で実施)		
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 主査 武田英世 (内線) 81-6641				改善点・目標の未達成理由等	

事業	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度		
	事業名	ものづくり現場企業見学会の開催		予算額	3千円	
				決算見込額	3千円	
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、市民が市内におけるものづくり現場を見学する機会を通じて、ものづくり産業への理解促進に取り組めます。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■見学会開催事業所の選定 見学会の開催にあたり、次のポイントを考慮して検討した。</p> <p>■検討ポイント ①昨年度の情報収集をもとに、大手企業を中心に開催を調整。 ②見学会の主な参加対象は、大学生とする。また、市内のものづくり産業の内、今回は、製造品出荷額等の多い業種を見学することを通じて、市内のものづくり産業の周知を図る。さらに、就職活動の参考としてもらう機会を提供する。</p>	
					補足事項	進捗率
	H26.3.31 現在	(参加者数) H24 / 0人 H25 / 42人 計 / 42人	(参加者数) 14	(%)		
	49	成果目標	参加者 300人/3年		<p>■開催日 平成26年3月20日(木)</p> <p>■見学先 日立アプライアンス株式会社清水事業所</p> <p>■参加人数 42人</p> <p>■参加者 (大学生等) 静岡大学大学院、静岡大学、静岡産業大学、 (その他) 静岡市ものづくり産業振興審議会委員</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業結果	<p>■概要 今回の見学会では、非常に親切かつ丁寧な対応をいただき、空調機等に関する世界水準の生産工程などについて、講義と現場の双方を通じて学習する機会を得ることができた。参加者からは、「場内の移動等を含めたコスト意識の高さをはじめ、国際競争を勝ち抜くための尽力を実感した。」とか、「これほどの企業が地元で立地していたことに感動した。」などの感想が聞かれた。</p>
		大施策				
		中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向			事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項</p>	
	基本方針					
	基本施策					
所属部会	<p>■PR促進部会 部会長 杉山委員 部会員 山梨委員、鶴田委員</p> <p>■事務担当 産業経営担当 山田主任主事</p>		<p>(事業担当) 記載事項</p>	<p>■見学会開催企業 大手企業については、引き続き、見学会の開催に関して調整を進めていく。併せて、中小企業等については、静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、本市のものづくり産業を周知する上で、魅力あふれる中小企業の選定に関する協議を重ねていきたい。</p>		
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 主任主事 山田一希 (内線) 81-6641</p>				改善点・目標の未達成理由等	